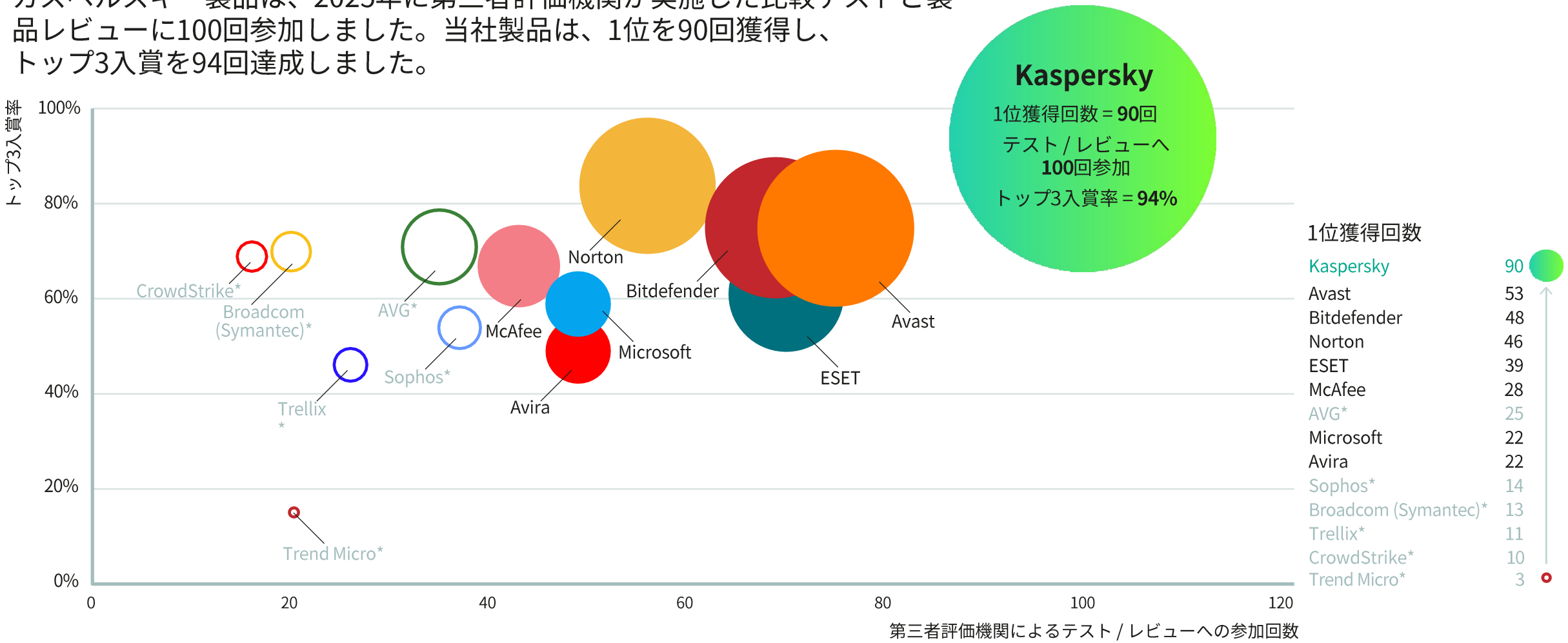
最多のテスト参加実績と、最多の受賞実績を誇る、カスペルスキーの保護。*

カスペルスキー製品は、2025年に第三者評価機関が実施した比較テストと製品レビューに100回参加しました。当社製品は、1位を90回獲得し、トップ3入賞を94回達成しました。



**最多のテスト参加実績と、*
最多の受賞実績を誇る、*
カスペルスキーの保護**

*kaspersky.co.jp/top3

*注：

- 2025年に実施された、法人向けおよび個人向け製品に関する第三者機関によるテスト結果の概略に基づく。
- サマリーには、次の第三者評価機関によるテストを掲載しています：AV-Comparatives、AV-TEST、MRG Effitas、SE Labs、Testing Ground Labs、Virus Bulletin。
- これらのプログラムで実施されるテストでは、既知の脅威、未知の脅威、および高度な脅威に対抗するすべての保護技術が評価されます。
- 円の大きさは獲得した1位の数を反映しています。
- * マークの付いたベンダーのテスト実施回数は、全テスト件数の35%未満であったため、グラフには補足として追加しました。

2025年のトップ3メトリックの説明

トップ3メトリックには、特定の暦年に第三者評価機関が実施した比較テストにおける特定のベンダーの成績が反映されます。

好成績であることを最もわかりやすく表現している要素は、トップ3スコアです。これは、報告期間内にベンダーとその製品が参加した第三者評価機関テストにおいて、1位、2位、または3位を獲得した回数を示しています。トップ3スコアは、ベンダーのトップ3入賞回数をそのベンダーの参加回数で除算して算出します。

トップ3スコアは、参加するベンダーごとに判定し、比較されます。

1. テストによって、最終的なテスト結果が異なります。参加ベンダーへのアワードの授与という形式をとる場合もあれば、検知率や誤検知率のリストの提供のみとなる場合もあります。
   ベンダーのトップ3入賞回数は、アワード受賞またはテストでの3位以内の入賞のいずれかに対して加算されます。アワード受賞とテストでのトップ3入賞の両方が加算されることはありません。
   数社のベンダーが、検知率や集計結果において同等の実績を達成したり、同等のアワードを獲得したりするケースがあります。この場合、当該ベンダーは同じテスト内で同じポジションを割り当てられています。
   検知率や集計結果に関して、それらのベンダーより結果が低かったベンダーの順位は「上位ベンダーの数＋1」として計算されます。たとえば、「**1、1、2、3**」という順位にはならずに、「**1、1、3、4**」「**1、2、2、4**」「**1、1、1、1、1、6**」のような順位になります。前述の並びにおいて、トップ3入賞回数が加算されるのは、太字のベンダーのみです。
   アワードに関しては、下に記載されているテストの説明に列挙されたルールの説明を参照してください。
2. ベンダーの参加回数は、その製品のいずれかがテストやレビューなどに参加するごとに加算されます。
   テストによっては、1社のベンダーの複数の製品が同じテストに参加する場合もあります。そのような場合、製品ごとに参加回数が加算されるため、参加回数がテストの合計数より多くなる可能性があります。

グラフには、テストの合計数の35%以上に参加したベンダーの結果のみが表示されています。

2025年に獲得したスコアの提出期限は2025年2月9日で、この日以降に獲得したテスト / レビュー結果を追加することはできません。

トップ3評価に参加したセキュリティベンダーは次の通りです：Avast、AVG、Avira、Bitdefender、Broadcom（Symantec）、ESET、F-Secure、G DATA、Kaspersky、McAfee、Microsoft、Sophos、Trellix、Trend Micro、WithSecure。参加した全ベンダーは、本文書末に記載されています。

	参加テスト数	トップ3入賞回数	トップ3入賞率（%）	1位獲得回数
Kaspersky	100	94	**94%**	90
Norton	56	47	**84%**	46
Bitdefender	69	52	**75%**	48
Avast	75	56	**75%**	53
AVG*	35	25	**71%**	25
Broadcom (Symantec)*	20	14	**70%**	13
CrowdStrike*	16	11	**69%**	10
McAfee	43	29	**67%**	28
ESET	70	43	**61%**	39
Microsoft	49	29	**59%**	22
Sophos*	37	20	**54%**	14
Avira	49	24	**49%**	22
Trellix*	26	12	**46%**	11
Trend Micro*	20	3	**15%**	3

*AVG、Broadcom（Symantec）、CrowdStrike、Sophos、Trellix、Trend Microは、テスト総数のそれぞれ32%、18%、15%、34%、24%、18%にしか参加していませんが、より有意義な知見を得る手がかりとして掲載しています。

2025年のトップ3メトリックの説明

これらのテストは、先進的な脅威など各種のマルウェアや、誤検知を対象として実施されています。

個別の脅威

APT

- AV-ComparativesAdvanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-ComparativesEndpoint Prevention and Response (EPR) test
- AV-TEST：Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- SE Labs：Enterprise Advanced Security (EDR) – Detection

ランサムウェア

- AV-ComparativesAdvanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-ComparativesEndpoint Prevention and Response (EPR) test
- AV-ComparativesBusiness Security Test
- AV-ComparativesMalware Protection Test
- AV-ComparativesReal-World Protection Test
- AV-TEST：Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-TEST：Bi-Monthly Certification: Consumer and Business
- MRG-Effitas：360 Assessment & Certification
- SE Labs：Enterprise Advanced Security (EDR) - Detection
- SE Labs：Security Evaluation Test: Enterprise Endpoint Security (Protection)
- SE Labs：Security Evaluation Test: SMB Endpoint Security (Protection)
- SE Labs：Security Evaluation Test: Home Anti-Malware (Protection)

フィッシング

- AV-ComparativesAnti-Phishing Certification

ファイルレス

- AV-ComparativesAdvanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-ComparativesEndpoint Prevention and Response (EPR) test
- AV-TEST：Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- MRG-Effitas：360 Assessment & Certification
- SE Labs：Security Evaluation Test: Enterprise Endpoint Security (Protection)
- SE Labs：Security Evaluation Test: SMB Endpoint Security (Protection)
- SE Labs：Security Evaluation Test: Home Anti-Malware (Protection)

脆弱性攻撃

- AV-ComparativesAdvanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- MRG-Effitas：360 Assessment & Certification
- SE Labs：Enterprise Advanced Security (EDR) - Detection
- SE Labs：Security Evaluation Test: Enterprise Endpoint Security (Protection)
- SE Labs：Security Evaluation Test: SMB Endpoint Security (Protection)
- SE Labs：Security Evaluation Test: Home Anti-Malware (Protection)

実環境テスト

- AV-ComparativesAdvanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-ComparativesBusiness Security Test
- AV-ComparativesReal-World Protection Test
- AV-TEST：Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business
- AV-TEST：Bi-Monthly Certification Consumer and Business
- MRG-Effitas：360 Assessment & Certification
- SE Labs：Security Evaluation Test: Enterprise Endpoint Security (Protection)
- SE Labs：Security Evaluation Test: SMB Endpoint Security (Protection)
- SE Labs：Security Evaluation Test: Home Anti-Malware (Protection)

Androidテスト

- AV-ComparativesMobile Security Review
- AV-TEST：Android Mobile Security Products Test: Consumer
- MRG Effitas：Android Efficacy Assessment
- Testing Ground Labs：Android Malware Detection Test: Consumer and Business

Macテスト

- AV-ComparativesMac Security Test & Review
- AV-TEST：Mac Detection & Performance Test: Consumer and Business
- SE Labs：macOS Home Anti-Malware Test

専門テスト

- AV-ComparativesAnti-Tampering Certification Test
- AV-ComparativesStalkerware Test
- AV-ComparativesFake-Shops Detection Certification
- AV-ComparativesParental Control Review
- AV-ComparativesDNS Test
- AV-TEST：VPN Test
- AV-TEST：VPN Comparative Test

誤検知（FP）

- 前述のすべてのテストのうち、FPの測定が含まれるもの

2025年のトップ3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは次の通りで、いずれも2025年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

AV-Comparatives

- **Top Rated Product**

  この年間アワードは年末に、1年間のテストサイクル内で最高位のアワードを獲得した個人向け製品に授与されます。次のテストが対象となります：Malware Protection Test（MPT）2件 + Real-World Protection Test（RWPT）2件 + Performance Test 2件+ Advanced Threat Protection Test（ATP、旧名称：Enhanced Real-World Test）。

  テストサイクル全体を通じて90点以上を獲得した製品には「Top Rated」アワードが授与され、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。残りの製品のトップ3入賞回数は加算されません。

  年末には、特定のテスト（MPT、RWPT、Performance、ATP）における最高の結果に対してメダル（「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」）が授与されます。これらのテスト結果は既にトップ3メトリックに反映されているため、2015年以降、メダルそのものはメトリックにはカウントされなくなりました。

  AV-Comparativesテストでは、アワードのみがトップ3入賞回数に加算されます。

- **Malware Protection Test**

  本テストは、File Detection Testの後継であり、テスト対象ファイルの実行がテストに含まれます。年2回実施されるため、メトリックでも2回カウントされます。このテストは、検知率と誤検知という2つの部分から構成されています。

  製品に対して、次のアワードが授与されます：「Advanced+」、「Advanced」、「Standard」または「Tested」。「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **Real-World Protection Test**

  このテストは4か月間にわたり実施され、現在の活動が目に見える、悪意のあるWebサイトやマルウェアを主に使用して、最終的な総括は半年ごとのレポートとしてまとめられます。このテストは年に2回実施されるため、メトリックにも2回カウントされます。製品のすべてのコンポーネントが全体的な保護において重要な役割を果たすため、このカテゴリで達成された結果は、現実的なシナリオにおけるマルウェア対策製品の効率性を示す良い指標となります。

  製品に対して、次のアワードが授与されます：「Advanced+」、「Advanced」、「Standard」または「Tested」。「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business**

  このテストでは、攻撃者が特定の外部コンピューターシステムを標的とするために使用するハッキング技術や侵入技術を用いて、そのような攻撃に対するセキュリティ製品の保護水準を評価します。脆弱性攻撃やファイルレス攻撃など、標的型の高度な脅威に対する防御力をチェックするテストです。

  個人向けメインテストシリーズの全製品は、既定でテスト対象となりますが、ベンダーにはテスト開始前にこのテストへの参加を辞退する機会が与えられているため、すべてのベンダーがこのテストに参加してしているわけではありません。このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。

  個人向け製品には、以下のいずれかのアワードが授与されます：「Advanced+」、「Advanced」、「Standard」または「Tested」。「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

  法人向け製品の場合、テストで使用する15種類の攻撃のうち少なくとも8種類をブロックし、かつ悪意のない操作はブロックしない製品は、テスト機関によって認定され、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **Endpoint Prevention & Response (EPR) Test**

  このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。標的型攻撃に対するセキュリティソリューションの対応能力（能動的、受動的なレスポンス）、是正措置の実施能力、攻撃内容の調査、侵害の兆候に関する情報の収集とわかりやすい形での表示などが評価されます。Enterprise EPR CyberRiskQuadrantには、各製品の侵害防止効果、それによる節約額の算出、製品の購入コスト、製品の精度コストが考慮されます。

  「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **Anti-Tampering Certification Test**

  このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。改ざんによるコンポーネントや機能の無効化や改変に対する、AV/EPP/EDR製品の耐性の評価に重点を置いています。

  「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

2025年のトップ3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは次の通りで、いずれも2025年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

- **Fake-Shops Detection Certification**
  このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。この調査では、サイバーセキュリティ製品が偽のオンラインショップを検知する有効性を評価します。

  認定された製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **Stalkerware Test**
  このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。このテストは、サイバーセキュリティソリューションがストーカーウェアを検知する能力を評価します。ストーカーウェアとは、脅迫による支配、嫌がらせ、プライバシー侵害などの目的で悪用されることが多い監視ソフトウェアのカテゴリです。

  検知率に基づき上位3位に入った製品のみ、そのベンダーのトップ3入賞回数に加算されます。

- **Business Security Test**
  このテストは年2回公開されるため、メトリックでも2回カウントされます。本レポートには、各種の法人向けセキュリティ製品を検証し、異なるマルウェアセット、Webサイト、脆弱性攻撃からの防御率、誤検知率、およびシステムパフォーマンスへの影響といった項目について、その防御効率の評価が記載されています。

  マルウェア保護テストにおいて、一般的な法人向けソフトウェアで誤検知ゼロで保護率90%以上を達成し、Real-World Protection Test全体において、クリーンなソフトウェアやWebサイトでの誤検知が100件未満で保護率90%以上を達成し、かつ重大なパフォーマンス上の問題がない製品はテスト機関により認定され、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **Anti-Phishing Certification**
  このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。このテストでは、ユーザーがウェブ閲覧中にセキュリティ製品で提供されるフィッシング対策のみを利用するという一般的な状況をシミュレーションします。このテストは、検知率と誤検知という2つの部分から構成されています。

  すべての製品が誤検知ゼロを達成した場合は、保護率が上位3位までの製品について、ベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

  参加製品のいずれかで誤検知が発生した場合、トップ3入賞回数が加算されるのは、認定製品のベンダーのみです。

- **Mobile Security Review**
  このレビューは年1回行われ、メトリックにカウントされます。レビューには、Malware Protection Testに加え、追加機能（盗難防止、バッテリー消費など）の概要も考慮されます。

  すべての製品が誤検知ゼロを達成した場合は、保護率が上位3位までの製品について、ベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

  参加製品のいずれかで誤検知が発生した場合、トップ3入賞回数が加算されるのは、認定製品のベンダーのみです。

- **Mac Security Test & Review**
  このレビューは年1回実施され、メトリックにカウントされます。レビューでは、各種のMac向け保護製品を製品の機能リストに照らして評価し、MacとWindowsに関連する個別のマルウェアセットの検知率や誤検知レベルなどのカテゴリで保護レベルを測定します。

  すべての製品が誤検知ゼロを達成した場合は、保護率が上位3位までの製品について、ベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

  参加製品のいずれかで誤検知が発生した場合、トップ3入賞回数が加算されるのは、認定製品のベンダーのみです。

- **Parental Control Review**
  このテストは年1回実施され、メトリックにカウントされます。テストでは、セキュリティ製品を対象に、望ましくないWebサイトへの子どものアクセスを防止する効率性を評価します。

  ポルノサイトの95%以上をブロックし、子ども向けのWebサイトでの誤検知がゼロで、レビュー中に未解決の重大な不具合（または設計上の欠陥）が発見されなかった製品のみが認定され、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **DNS Test**
  このテストは年に1回実施され、メトリックに集計されます。本テストは、成人向けコンテンツをブロックするDNSフィルタリングサービスの有効性の評価を目的としています。

  ブロック率に基づいて上位3位以内に入った製品のみ、そのベンダーのトップ3入賞回数に加算されます。

2025年のトップ3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは次の通りで、いずれも2025年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

AV-TEST

- **Best Protection Award: Consumer and Business**
  この年間アワードでは、1年間にわたって隔月で認定が行われ、保護部門で完璧な結果を残した場合に、年1回アワードが授与されます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。
- **Best Usability Award: Consumer and Business**
  この年間アワードでは、1年間にわたって隔月で認定が行われ、ユーザビリティ部門（誤検知に対する抵抗）で完璧な結果を残した場合に、年1回アワードが授与されます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。
- **Best Android Security Award: Consumer**
  この年間アワードは、1年間のAndroidセキュリティテストで完璧な結果を出した場合に年1回授与されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。
- **Best Mac Security Award: Consumer and Business**
  この年間アワードは、1年間のMacセキュリティテストで完璧な結果を出した場合に年1回授与されます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。
- **Best Advanced Threat Protection Award: Consumer and Business**
  この年間アワードは、1暦年のAdvanced Threat Protectionテストで完璧な結果を出した場合に年1回授与されます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。
  アワードを授与された製品のみ、ベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。
- **Bi-Monthly Certification: Consumer and Business**
  この1年間の認定シリーズは、個人向けと法人向けの部門で構成され、それぞれ2か月間のテストを6回行い、結果は偶数月ごとに発表されます。つまり、このテストはメトリックで6回カウントされることになります。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。すべての参加製品は、保護、パフォーマンス、ユーザビリティの各カテゴリで評価され、ポイントを獲得します。各カテゴリの獲得ポイントの合計が総合得点となり、上位3位までの製品についてトップ3入賞回数が加算されます。
- **Advanced Threat Protection Test: Consumer and Business**
  このテストは、メトリックで6回カウントされます（12月、4月、6月、8月、10月、12月）。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。本評価では、ランサムウェアやデータ窃取型マルウェアを拡散するAPT攻撃に対し、エンドポイントソリューションが持つ検知および脅威防止機能を、通常の運用において誤検知を発生させずに発揮する能力を評価します。実行される攻撃チェーンは、MITRE ATT&CKの異なるTTPに起因する別々のステージに分割されています。各カテゴリの獲得ポイントの合計が総合得点となり、上位3位までの製品についてトップ3入賞回数が加算されます。

2025年のトップ3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは次の通りで、いずれも2025年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

- **Android Mobile Security Products Test: Consumer**

  この認定プログラムは1年間にわたり、Android向けの各種のセキュリティ保護製品を評価します。個人向け部門のみから構成され、6つのテストに分かれています。結果は奇数月ごとに発表されます。つまり、このテストはメトリックで6回カウントされることになります。すべての参加製品は、保護、パフォーマンス、ユーザビリティの各カテゴリで評価され、ポイントを獲得します。各カテゴリの獲得ポイントの合計が総合得点となり、上位3位までの製品についてトップ3入賞回数が加算されます。

- **Mac Detection & Performance Test: Consumer and Business**

  このテストは、Mac OS X向けの各種のセキュリティ保護製品を評価します。個人向けと法人向けの部門で構成されており、そのテスト結果は公表され、メトリックで年4回カウントされます。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。すべての参加製品は、保護、パフォーマンス、ユーザビリティの各カテゴリでポイントを獲得します。各カテゴリの獲得ポイントの合計が総合得点となり、上位3位までの製品についてトップ3入賞回数が加算されます。

- **VPN Test**

  このテストは年に1回実施され、メトリックとしてカウントされます。日常的な使用状況を想定したテストを通じて、VPN製品のパフォーマンス面とセキュリティ面を評価します。このテストフレームワークでは、接続の安定性、データ転送速度、暗号化の強度、ユーザーの匿名性が対象となりました。

  「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **VPN Comparative Test**

  この委託テストは年に1回実施され、測定結果がメトリックにカウントされます。目的は、選定されたVPNサービスのパフォーマンスを、暗号化されていないリファレンス接続と比較して測定すること、およびそれらのサービスに含まれる機能、実装されているセキュリティ、IP保護機能、製品を提供するベンダーの公的な透明性を検証することです。

  「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

MRG Effitas

- **360 Assessment & Certification**

  このテストは年4回実施・公表され、初期感染をブロックする能力と、侵害されたシステム上のマルウェアを検知して修復するのにかかる時間の両方を評価します。このテストは、以前の「Time to Detect & Remediate Assessment」テストに代わるもので、2020年第2四半期より、金融機関を標的とするマルウェアに対する製品の対処効率を評価するオンラインバンキング部門が含まれるようになりました。「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **Android Efficacy Assessment**

  このテストは年4回実施・公表され、初期感染を端末へのコピー中にブロックする能力（いわゆる早期検知）と、実行中にブロックする能力（インストールステージ）の両方を評価します。このテストには誤検知サブテストも含まれます。

  参加製品がすべて認定された場合、検知率の二段階の合計に基づき上位3位に選出された製品については、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

  参加製品のいずれかで誤検知が発生した場合、トップ3入賞回数が加算されるのは、認定された製品のベンダーのみです。

2025年のトップ3メトリックの説明

メトリックの計算に使用されたテストは次の通りで、いずれも2025年に実施されています。
テスト実施機関はアルファベット順です。

SE Labs（旧名称：Dennis Technology Labs）

- **Security Evaluation Test: Enterprise Endpoint Security (Protection)**
- **Security Evaluation Test: SMB Endpoint Security (Protection)**
- **Security Evaluation Test: Home Anti-Malware (Protection)**

四半期ごとに実施されるこれらのテストは、年4回公表され、メトリックにカウントされます。以前はEnterprise Endpoint test、Small Business Endpoint test、およびHome Anti-Malware Protection testという名称でした。これらのテストは、著名なセキュリティ企業が提供するマルウェア対策製品の有効性を比較することを目的としています。大企業向け製品、個人向け製品、中小企業向け製品は別々に評価されます。テスト期間中、製品は実際のインターネット上の脅威による攻撃を受ける状況におかれます。顧客の体験を忠実に再現した、きわめて現実的なアプローチで、攻撃が実施されます。結果には、ユーザーが感染したWebサイトを閲覧した場合など、実際に顧客が使用するシナリオで製品がどのように機能するかが反映されています。テストには、検知および誤検知のサブテストがあります。

総合精度評価スコア（2つのサブテストの得点を合算して算出）が最も高い上位3つの製品について、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **Enterprise Advanced Security (EDR) Test – Detection**

このテストは、今年は年1回公表され、メトリックにカウントされます。「Breach Response Test」とも呼ばれるこのテストは、犯罪者やその他の攻撃者がシステムやネットワークに侵入するのと同じ手法でシステムを侵害し、標的となるネットワークに侵入するように設計された一連のハッキング攻撃に対する、対象製品の有効性を評価します。テストには、検知および誤検知のサブテストがあります。

総合精度評価スコア（2つのサブテストの得点を合算して算出）が最も高い上位3つの製品について、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

- **macOS Home Anti-Malware Test**

このテストは年に1回実施され、メトリックにカウントされます。Appleのデスクトップおよびノートpcを動作させるオペレーティングシステムであるmacOSに組み込まれたセキュリティ機能を評価します。

「Advanced+」を獲得した製品に限り、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

Testing Ground Labs

- **Android Malware Detection Test: Consumer and Business**

このテストは、モバイル製品がユーザーのAndroidデバイスを脅威から保護する効果の程度を評価します。テストには、検知および誤検知のサブテストがあります。個人向け製品と法人向け製品は別々に評価されます。今年は、個人向け製品は6回、法人向け製品は3回公表されています。

総合スコア（2つのサブテストの得点を合算して算出）が最も高い上位3つの製品について、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

VirusBulletin

- **VB100 Certification**

これらのテストは毎月実施され、各種の製品を評価します（以前は、偶数月に実施されていました）。今年は、レポートが12回発行されています。

認証に合格した各製品について、そのベンダーのトップ3入賞回数が加算されます。

2025年のトップ3メトリックの説明

トップ3（2013-2025）に登録されたすべてのテスト参加者のリスト

- 1E
- Acronis
- AhnLab
- Alibaba
- Antiy Labs
- Apple
- ArcaBit
- Avast
- AVG
- Avira
- Bitdefender
- Bkav
- Carbon Black
- Check Point
- CHOMAR
- Cisco
- ClamXav
- Clario
- CleanBrowsing
- CMC Cyber Security
- Combo
- Comodo
- Control D
- Coronet Cyber Security
- CrowdStrike
- CyberGhost
- Cynet
- dns0.eu
- DNS4EU
- Dr.Web
- Elastic
- Elpha Secure
- EmsiSoft
- Enigma Software Group
- ESET
- ESTsecurity
- Exosphere
- ExpressVPN
- Faronics
- Fidelis Security
- Fortect
- Fortinet
- F-Secure
- G DATA
- Google
- Hammock
- HarfangLab
- Hauri
- HP
- Huawei
- Ikarus
- INNOVATIVE CONNECTING
- Intego
- K7
- Kaspersky
- MacPaw
- Malwarebytes
- ManageEngine
- McAfee
- Microsoft
- Microworld
- NAVER Cloud
- Net Protector
- NetSecurity
- NextDNS
- NordVPN
- Norton
- Palo Alto
- Panda
- Point Wild
- Priil
- Protectstar
- Proton VPN
- Qi-ANXIN
- Qihoo 360
- Qualys
- Quick Heal
- Rakeen
- Rapid7
- ReasonLabs
- Rising
- Scanguard
- Securion
- SenseOn
- SentinelOne
- Seqrite
- SGA EPS
- ShieldApps
- SOMANSA
- SonicWall
- Sophos
- Surfshark
- Symantec
- TGSoft
- ThreatBook
- Total Defense
- TotalAV
- Trellix
- Trend Micro
- Tweaking Technologies
- Varist
- ベンダーA（AVC-PC）
- ベンダーB（AVC-EPR）
- Vietnam Posts and Telecommunications Group
- Viettel Security
- VIPRE
- VMware
- WatchGuard
- Webroot
- WithSecure
- Wontok
- Yandex